



四角語句を、線の上に練習するですよ。

英文には、必ず動詞が1つある。つまり、**be 動詞**と**一般動詞**は、一緒に使えない。

☆☆53 比較(原級の基本)

現在の文で、**主語が三人称単数 (I, you 以外の1人)** のとき、**be 動詞**は **is** とし、**一般動詞**には **s** または **es** をつける。

(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

🌸主語+動詞+ **as 原級 as 相手** . : 主語は、相手と同じくらい…です。

原級の文の特徴1 : **as 相手** を、**文末に** 置く。

原級の文の特徴2 : **原級の前** に、**もう1つ as** を置く。

問題282 文を完成させなさい。

(1) I am tall. (彼と同じくらい 背が高いです。に)

I am as tall _____ he.

(2) I am busy. (彼と同じくらい 忙しいです。に)

I am _____ busy _____ he.

(3) Pochi is pretty. (タマと同じくらい かわいいです。に)

Pochi is _____ Tama.

(4) I run fast. (彼と同じくらい 速く走ります。に)

I run _____ he.

(5) He plays tennis well. (亜紀と同じくらい 上手にテニスをします。に)

He plays tennis _____ Aki.

(6) Tom has many books. (亜紀と同じくらい たくさん本を持っています。に)

Tom (many Aki as as books has).

Tom _____ Aki.

重要アドバイス。
as as で挟む(はさむ)と覚えなさい。

than he : 彼より、
as he : 彼と同じくらい、
のように…

as の次は、
主格(1番目)になります。

穴埋め問題や、
並べ替え問題では、
最初に、「**as 相手**」を
文末に書くのも、良い手です。

Tom has many books.

とありますね。
この4つの単語の順序を、
入れ替えないこと。
これが一番大切です。

as~as の中は、
1語とは
限りません。

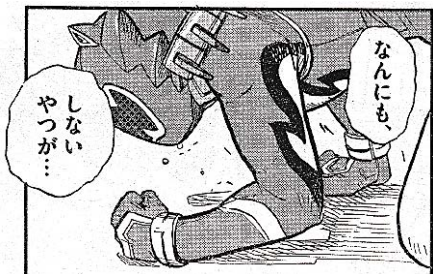
中学英語も中盤を過ぎました。英語が不安で、塾に通おうかなと考えた時は。

あなたが塾に行く目的は、勉強のやり方を身につけるためですか。それとも、分からないところを教わるためですか。

両方違いますよね。塾に通う目的は、その場で練習して、学力を向上させるためですよね。

これって、スポーツと同じだと思いませんか。スポーツは、その場で練習しますよね。「よし、三遊間のゲッツーの取り方は分かったな。あとは各自、家で練習を頑張れ。解散!」「はいっ!」なんて野球部、おかしくて笑ってしまいますよね。

だからもしあなたが、おうちでも勉強を頑張っている。なのに、なかなか成果につながっていないならば、たくさん練習できる塾を探してみてください。



出典「トクサツガガガ」
丹羽庭氏 小学館 より

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。



四角語句を、線の上に練習してください。

☆☆53 比較(原級の基本)

英文は、「主語+動詞～」でできている。
(例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)
これ全部が主語 動詞 ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

Who makes dinner? (誰が夕食を作りますか。) 疑問詞の主語は、三人称単数となる。

良いか悪いかでなく、「自分に合う塾はどこかな」という視点で、塾選びを。

今回、私(塾長)の話をさせていただきます。私は開業する時に、「授業をしない(教えない)塾」という設計にすることが、怖かったです。

「あの塾、自習だけらしいよ」と思われるのが、怖かったからです。実際そう言われ、悲しい思いをしたこともあります。

でも今は、乗り越えることができました。なぜなら、勉強もスポーツも、成果は必ず「練習量に比例する」という、私の中での信念が、10年経ってもぶれずに、確信であり続けたからです。

実際、ランクを下げずに志望校に合格する塾生たちのおかげで、私は救われました。そして、ますますやる気になっています。今年も、たくさん練習できる環境を用意し、子供たちと頑張っていこうと思います。



出典「トクサツガガガ」
丹羽庭氏 小学館 より

<日本語を英語にする方法 原級編>

- ステップ1: 比べる相手(〜と同じくらい)を()でくくる。
- ステップ2: () 以外を英語にする。←中1の文になる。
- ステップ3: () 内の日本語を英語にして、文末につける。
- ステップ4: ステップ3の文のうちの、**いじる単語を二重線で消す。**
そしてその単語の真下に、矢印を下向きに書き、完成文を書く。←なるほど…[右枠を見てください。]

日本語を英文にするステップ。
(例) 私は彼と同じくらい、速く歩きます。
ス1. 私は(彼と同じくらい)、速く歩きます。
ス2. I walk fast.
ス3. I walk ~~fast~~ as he.
↓
ス4. I walk as fast as he.
この例のように、問題も解いてみよう。

問題283

上のステップに従って進めなさい。

(1) ステップ1 → 私は 彼と同じくらい 背が高いです。 tall as as

ス2 → _____ .

ス3 → _____ .

下矢印を書く →

ス4 → _____ .

(2) ステップ1 → 彼は 私と同じくらい 速く走ります。 fast run

ス2 → _____ .

ス3 → _____ .

下矢印を書く →

ス4 → _____ .

主語が「彼」なので、一般動詞、どうしますか？

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

☆☆53 比較(原級の基本)

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。

book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。

これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

<日本語を英語にする方法 原級編>

ステップ1：🌸 比べる相手(〜と同じくらい)を()でくる。

ステップ2：🌸 () 以外を英語にする。←中1の文になる。

ステップ3：🌸 () 内の日本語を英語にして、文末につける。

ステップ4：🌸 ステップ3の文のうちの、**いじる単語を二重線で消す**。

その単語の真下に、下矢じるしを書き、完成文を書く。

問題284 上のステップに従って進めなさい。

(1) ステップ1 → 彼は 私と同じくらい たくさんお水を持っています。

2 → _____ .

3 → _____ .

下矢印を書く →

4 → _____ .

応用： **a 形容詞+名詞**のように、aがある場合、aと形容詞を入れ替える！ ← ほか…

(例) Jiro is **a good swimmer**. (次郎は、良い水泳選手です。)

Jiro is as **good a swimmer** as I. (次郎は、私と同じくらい、良い水泳選手です。)

(2) ステップ1 → 彼女は 私と同じくらい 良いマラソン選手です。 a good

2 → _____ runner.

3 → _____ runner _____ .

4 → _____ runner _____ .

I am a good runner.

↑

ここに **as** を入れると、**a** が外に出てしまう。**a as** となり、発音もしづらいし、見た目も不自然。よって、**a** と **good** を入れ替えることになりました。おそらく…

四角語句を、線の上に練習してください。



be 動詞：です。います。あります。
主語が複数なら are、三人称単数は is。

日本語を英文にするステップ。
(例)彼は亜紀と同じくらい速く歩きます。

ス1. 彼は(亜紀と同じくらい)、
速く歩きます。

ス2. He walks fast.

ス3. He walks ~~fast~~ as Aki.

↓

ス4. He walks as fast as Aki.

この例のように、問題を解いてみよう。

as~as の中は、
1語とは限りません。

塾選びは、長所と短所の両方を聞くと良いです。

塾を検討するポイントは、**短所を聞くこと**です。長所の反対が短所の場合も多いですので、**長所(特長)の裏**を考えるのも手です。

たとえば私の塾は、「**集中して勉強できた。**」「**アツと言う間に90分が過ぎた**」「**こんなに勉強できて、自分に自信が持てた。**」と言われます。これが長所(特長)です。ということは逆に…

「子供たちにとって」の、私の塾の短所は…

1. 1対1の個人指導ではないため、**自分でできることはすべて、あなた自身でやってもらいます。**だから、**答えの解説を読んだり、教科書で調べたりと、あなたに努力を求めます。**だから困っても、**すぐ「先生教えてください！」**とは言えません。

2. **入試当日の実力発揮を重視**する塾です。だから緊張感のある教室にするため、**知り合いがいても、目を合わせることも許しません。**よって、**楽しい雰囲気も必要だな、**と思う子には合いません。

3. 「もし塾生が入試で不合格となり、点数があと**1点足りない**ためだったと知ったら、私はそのときどう思うだろうか。」こう私は自分に自問自答すると、**1分1秒を無駄にせず、少しでもたくさん勉強してほしい**と思っています。だから、私の塾の「**授業=地味でつまらない**」です。

以上が主な、**私の塾の短所**です。このように、物事の「**長所**」と「**短所**」は、表裏一体です。ですので、**長所と短所、両面を知った上で、**最善の塾選びをしてほしいと思います。

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。



あなたには、自分自身を大切にしてほしいです。つまり客観的に、自分自身を見て。

「自分を大切にする」とは、10年後の自分が今の自分を見たら、何と言うだろうか？という視点で、今の自分を見ることです。(ほお…)

「素晴らしい!」「そのままにいるんだぞ。」
「ゲーム三昧? いいぞ! その調子だ!」

25才になったあなた、こう言えますか?
「またか…ゲームや **Youtube** をほどほどにして、勉強しなさいってことでしょうか?」こう思ったあなた、鋭い。やはり分かっているのですね。

他人の言葉はスッと入らなくても、先輩の自分、いわゆる「**自分先輩**」の言葉なら、腑に落ちるのではないのでしょうか。一度、試してみてください。

追伸: それはそれとして、ゲームや **Youtube** を楽しんだら、**その2倍**、お勉強をするルールは、必ず守ってくださいね。



出典「トクサツガガガ」
丹羽庭氏 小学館 より

英単語の覚え方: 教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです(予習で)。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すでにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。

私(塾長)も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。と言いやすいです。

5 3 比較(原級の基本) [解答]

[解答] 比較(原級の基本) 5 3

問題 2 8 2 (1) as (2) as / as (3) as pretty as (4) as fast as (5) as well as (6) has as many books as

問題 2 8 3

(1) ステップ2 I am tall
ステップ3 I am tall as he
↓
ステップ4 I am as tall as he

(2) ステップ2 He runs fast
ステップ3 He runs fast as I
↓
ステップ4 He runs as fast as I

問題 2 8 4

(1) ステップ2 He has much water
ステップ3 He has much water as I
↓
ステップ4 He has as much water as I

(2) ステップ2 She is a good
ステップ3 She is a good / as I
↓
ステップ4 She is as good a / as I

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。